

4月・5月の立哨報告 (R8年度)

【JR 坂出駅】

- ホームが大変混み合っていましたが、子供達は自然と1箇所に集まって過ごし、「〇〇さんは?きてる?」などお互いを気にかけていて頼もしかったです。
 - 通学時ということもあり、静かに並んで電車に乗っていました。
また一年生は保護者が一緒ということもあり緊張感を持って通学していました。
 - 改札前で待っている子もいました。
15:16 発上り、15:20 発下りの2年生、ホームで騒がず座ったり話したりしながらですが上手に待っていたと思います。
 - 上級生の子が上手にまとめているのを拝見し、さすがだなと感心しました。
 - 15:00 発の下りに乗る低学年、1年生が多く可愛らしい賑やかさはあったが、走り回ったり大騒ぎするような事はなく、きちんと集合して比較的スムーズに乗車出来ていました。
 - 駅構内では、走ることなくホームに上がり、電車を待つことが出来ていました。先生方が新一年生の様子を見るために来てくださっていたことも影響していたかもしれませんが、今回のような素晴らしい態度が自分たちだけの時も出来るとよいなと思いました。
 - 高校生等でホームが混雑していた中ですが黄色い線の内側で待ち、電車がきたらスムーズに乗れていました。立哨した時間は上級生が多かったですが、特に問題なく出来ておりさすがだなと思いました。
-
- ▲ホームの中学生を見て思ったのが、大きなリュックを背負って、反対ホームの発車しようとしている電車スレスレを歩いている、立ち止まって、電車で背を向ける形で向き直った時に、リュックが電車に引っかかりそうで怖いと感じました。
ホームが混んでいる為、どうしても白線の内側に収まるのが難しいですが、ランドセルも大きい為、同じ危険があると思いますので、後ろにも気をつけて動く必要があると感じました。
 - ▲下校時は緊張感が途切れて、少し走ったりする子もいましたが、引き続きパトロールの担当以外の時も様子を見ようと思います。
 - ▲15:00 発下り
エスカレーターを使用しているのかわからず、エスカレーターに乗ってホームに上がっている子が何人かいたので、なるべく階段を使うように声をかけました。
 - ▲少し遅れてやってきた子が10分前ではないのに、ホームに上がっていたので、「10分前に上がるうね」と声をかけました。
 - ▲駅ホームで広がって待っていたり、乗車しない電車が停まっており扉が開いていると少し乗ってみたりとしている子がいました。危ないと思い声かけをさせていただきました。

(どれも1年生に見られた様子です。)

▲隣の2番線に停車中電車の開いているドアから乗る真似をして、足を掛けたり引っ込めたりしてふざけ合う。

(→とても危ない事なので注意しました。白線の内側から出ないようにも伝えたと、白線が何か分かっていないようでした。)

▲15:00の電車に乗る際、ドアを開けるボタンを自分が押したくて、友達同士で取り合いケンカ(?)のようになる。

(→乗降に支障がでるのでなだめて、止めさせました。子供はボタン押しが好きですから、ありがちな事かもしれません。)

▲電車がよいよよ来るという時でも、割と白線より前にはみ出している子もいる。

(→電車がホームに進入する時は一番緊張感を持たなければいけないので、全員が白線の内側にいるよう注意しました。)

▲特に迷惑行為はなくてよかったです。大勢でホームでは目立つ存在な為、少しでも整然と待つように皆で心掛けられたら、他の乗客からみても印象がよいと思います。

15:24の各駅停車高松行きに乗る子が一人おり、待ち時間、「暇...。」と言いながらも静かに待ってしっかり乗車、2年生になるとずいぶん落ち着きを感じられ、先ほどの1年生達もこうして成長していくのだなあと思いました。

▲雨の日でしたので、駅入口付近で走らず歩くように声かけしていましたが、1年生の男の子が脇をすり抜けるように走って行ってしまいました。

なかなか手強いですね。

▲残念なことに、黄色い線から出て移動する児童が多くいました。黄色い線より内側を歩くよう注意しても、聞こえてないのか、私から離れた場所で、再び黄色い線から出て、移動していました。

1番残念だったのは、児童同士で危ないよ、内側を歩こうよと声を掛け合わないことでした。電車が来てない時は、黄色い線から出てもいいという考えが共通意識になっているのではないのでしょうか。

黄色い線より外側の線路側に人がいなくて、通りやすいのは分かります。だけど、黄色い線から出て歩いているときに、思わず荷物や人にぶつかってホームに転落する危険性を分かってほしいです。

電車が来ていない場合でも、黄色い線から出ないことをもう一度、学校及びご家庭でお話していただきたいです。

他にも、混雑するホームで友達と戯れて遊び、他の乗客の人にぶつかる姿や声の大きさなど気になりました。

ここからは上り方面の話です。

ホームに電車が入っているときに、黄色い線上で、戯れて遊ぶ姿がありました。(これは大変危険ですが、注意する時間がありませんでした)

上りの児童も下りの児童も、楽しく学校に行っているのはいいことなのですが、駅という公共施設でどのように過ごすべきか考える必要性があると思います。

- ▲電車に乗る時、先に並んでいる人の前に並ぼうとする子供が多く、注意しきれず他の利用者に申し訳ない気持ちになった
- ▲ホームまで走って来る子供が大半で、通行人もいるので危険を感じた
- ▲ホームに上がる前に外で待っている男の子 2 名が走り回っていて他の利用者に迷惑になっていた。(注意したらやめてくれた) 今回の立哨は男の子のマナーの悪さが目立ちました。比較的女の子はマナーを守っていて、一緒に注意してくれる子もいました。

【通学路(坂出高校東、武部歯科)】

○横断歩道などでは立ち止まって周囲を確認し、手を上げて渡れていました。

▲坂出高校前の道で、歩道からはみ出ている子が少しいました。

▲みなさんルール守って横断できていましたが、

1組だけ違った渡りかた(セブンの側から来て、南へ渡ったのちに西側へわたる)をしていました。歩行者信号が青の間に西へも渡りたかったようで走っていましたが間に合ってなかったのでは?!と思います。学校から伝えられている渡り方には理由があることを私も学びました。

▲きちんと歩道を歩いて、挨拶もしっかりできる子がほとんどでした。

気になった点として、学園通りから右折で附属小前の通りへ入って来られる方が数名おられます。道の途中でお子さんを拾われるので、保護者の方だと思います。学園通りも混んでいますし、無理に右折しようとするので、対向車や子ども達にもちょっと危ないように感じました。

▲ザグザグ前の歩道を 3 列 4 列になって歩いている子達が居て、自転車とぶつからないか少し心配になりました。